

令和5年9月28日

山県市教育委員会 教育長 様

## 第2回学校運営協議会報告

山県市立大桑小学校

校長 杉山 正高

このことについて、次の通り報告します。

1. 実施日時 令和5年9月26日(火) 午前9時30分～午前11時15分

2. 出席者 学校運営協議会委員11名(片岡委員は欠席、傍聴人なし)

### 3. 内容

- 挨拶 学校運営協議会 会長 および 学校長
- 授業参観
- 学校評価について
- 今後の教育活動について
- 意見交流
- その他 地域行事について

### 4. 検討事項

- 学校評価について(別紙資料)
  - ・学校長からこれまでの主な教育活動と学校経営方針にかかる中間評価について、教頭から児童・保護者評価、職員自己評価についてプレゼン説明・提案し、承認された。
- 今後の教育活動について
  - ・「かしの木フェスティバル」を11月12日(日)に行うことについて校長、公民館長から提案し、承認された。
- その他
  - ・今年度の学校運営協議会について、第3回目を2月27日(火)に行うことが承認された。
  - ・次回の学校運営協議会においても、事前に傍聴希望者について、ホームページにて案内する。

### 5. 各委員からの意見等

- A会長
  - ・4月に比べると、元気に盛り上がっていた。
  - ・1対1での指導は、大変ではないか。先生方は、根気よく指導されている。
- B委員
  - ・「内なる元気」をもち、子どもたちは元気に活動している。5、6年は真剣に考える「元気」だった。
  - ・一人一台タブレットを使いこなす姿があり、感心した。
  - ・日常生活の中から、秋の言葉を見つけていた。生活とつながっている。

### OC委員

- ・資源回収の2回目を12月に行う。雑洞は児童が一人になり、減っているが、地域の人と子どもたちと挨拶やお礼を言うことで接点をもたせていきたい。
- ・3, 4年生みんながタブレットを使っていた。時代の変化に驚いた。
- ・PTAとして、学校の指導のフォローをしていきたい。

### OD委員

- ・「地域の人々から学ぶ。地域に学ぶ」大桑を、山田市、世界を地域という大きく広い視野に立ち、その中で、何を学んできたかを大切にしたい。大桑で育ったことを大切に教育を行う。
- ・自分に対する誇りをもてない子がいる。褒めたい一方で、余裕がないと褒められない。
- ・「自分にはこういう素晴らしいところがある」と言える子どもを育てたい。児童がそれを自覚できる教育を、学校、家庭、地域一緒にやっていく。
- ・完全複式になり、複式学級の大変さがある。教科を合同で行うのは難しい課題もあるが、今後何年か複式学級が続くため、タブレットで個別学習が工夫できないか。

### OE委員

- ・校長、教頭が代わった。活気があり、よく動いている。児童もタブレットを使うなど経験を積んでいる。
- ・学校は、学校の活動を地域へ提供している。双方向の取り組みになるとよい。
- ・PTA 活動は、資源回収など、アイデアを出して活動している。
- ・市のホームページの情報を確認していく。

### OF委員

- ・ドングリ学級の M さんの笑顔がとても良かった。
- ・子どもたちがタブレットを使う姿に驚いた。
- ・複式学級はえらいが、この学校の宿命である。
- ・11月12日に「かしの木フェスティバル」を行うので、協力をお願いしたい。

### OG委員

- ・若松学園の建て替えを計画している。(2年後、5棟建てる計画)高校を卒業したら自立していくためにも、自立生活を目指し家庭的な体験をさせていく。
- ・今後も、学校と連絡をとっていく。

### OH委員

- ・いつも、学校地域にお世話になっている。
- ・子どもが伸び伸びしている。先生は、子どもに寄り添った教育をしている。
- ・11月3日に、学園で4年ぶりの祭りを挙げる。

### OI委員

- ・子どもたちはしっかりと、元気である。複式なのにそうみえない。しっかりと学ぼうとしている。
- ・もっと大胆に授業をしてもよいのではないかと。例えば、音楽のリズム作りを行っていたが、手拍子だけでなく、太鼓やメトロノームを使うなど、先生や子どもの発想をどんどん取り入れていくと、自分で考えて実行していく力につながるのではないかと。

## 6. 添付資料

- ・第2回学校運営協議会資料